

市ニ

民活動

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

ニュース



2003年

2月号

平成15年1月25日発行
通巻50号



三重県内各地で次々に生まれつつある
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

NPO法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど **久居市**

◆発行◆
514-0009
津市羽所町 700 番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail open@mienpo.net
県NPOチームホームページ
<http://www.mienpo.net/>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

はじめまして“NPOどんど”です。「困った時、つまづいた時、身近に受け皿があれば、誰もが安心できる、これ創ろう!!」という思いから、1999年12月、県内24番目のNPO法人として誕生しました。

以後、「すべての子どもが夢と希望のもてる社会づくり」をめざして、子育て支援ネットワークの確立と、子育て支援センターAAA(トリプルエー:いつ来てもええA、だれが来てもええA、泊まってもええA)の設置運営を夢みながら活動を展開しています。

何はともあれ、単独(ひとり・1団体)では力不足。それぞれの得意と持ち味を出し合ってこそ市民活動の真骨頂!!

“NPOどんど”は、子どもたちの笑顔を支える、そんなネットワークづくりを提案しています。

子育て支援キャラバンのご案内

昨年10月より、子育て支援キャラバンが始動しました。これは、三重県の「地域子育てサポートシステム基盤整備事業」を、企画コンペを経て“NPOどんど”が受託した事業で、県内69市町村を対象に、それぞれの“まち”の実状にあった子育て支援ネットワークを創りあげていこうとするものです。この事業は、NPO、三重県、市町村の協働、また福祉分野、教育分野さらには生活分野との連携が不可欠です。とは言うものの、組織や母体の“協働、連携”は口で言うほど容易なものではなく、特にこの事業では各自治体と市民(生活者)との協力、協調関係が求められることから、関係各位にとっては“協働”の体験学習をする場でもあると考えています。

次回からキャラバンの内容や様子を皆さんにお知らせしたいと思います。どうぞご期待ください。

●ところ/子育て支援キャラバン事務局 NPOどんど内

●問い合わせ先/E-mail caravan@pasoya.jp

ホームページ <http://www.pasoya.jp/~caravan/>



スタッフが常にいます。気軽に訪れて。



事務所は久居駅のある、ポルタひさいビルの南側にあります。



市民活動ニュースはこちらにあります!
【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/市民活動情報ネットワークずさのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市南町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考案みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート 赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場



特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど

514-1118 久居市新町3006ポルタひさい1F

Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090

E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/~dondo/>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

イベントスケジュール

NPO法人緑のネットワークみえ・自然環境創造協会総会

——豊かで美しい自然が 豊かで美しい心を育てる——

- とき/2月2日(日)PM1:30~PM3:30頃
- ところ/津市民活動センター(津センターパレス)
- 内容/緑のネットワークみえは(1)地域の自然を見直し、記録する活動(2)「恋・自然博inみえ」にむけての準備活動(3)CO2削減のための森林・里山整備活動(4)海・山・川などテーマ別の環境向上活動を行っている団体です。また、自然環境創造協会は三重県内の環境NPOや企業、農林水産業界や心ある個人が集まっているゆるやかな組織です。有償ボランティアの名簿登録をお願いします。総会参加も歓迎。
- 申込・問い合わせ先/鈴鹿市住吉1丁目13-1 緑のネットワークみえ Tel.0593-75-7825

おかげさまで、津のまちで10年 リサイクルショップ・チェルノブイリ開店10周年感謝祭

- とき/2月8日(土)AM11:00~PM3:00
- ところ/当店・隣の料亭「平次」さん駐車場
- 内容/店内は大バーゲン!テントの中では温かいものを用意しますので、チェルノブイリの子どもの描いた絵の街頭展を見ながら楽しいひとときをお過ごしください。なお、リサイクルショップ・チェルノブイリからの救援募金総額は10年で2,000万円を超えました。募金は活動母体である1990年6月発足の「三重チェルノブイリ被曝児童救援募金」から、当初は、ドイツ・パトモス教団を通じて、現在は主にチェルノブイリでも取材の第一人者・広河隆一さんが代表の「チェルノブイリ子ども基金」に寄託されています。
- 問い合わせ先/津市西丸之内9-18 リサイクルショップ・チェルノブイリ Tel.&Fax.059-224-5622 (平日AM10:00~PM6:00、日曜休)

シカケラレルヨリ シカケヨウ

- とき/2月8日(土)PM2:00~PM5:30
- ところ/三重大学三翠ホール(講堂) 小ホール
- 参加費/無料(ただし、大交流会は飲食代が必要)
- 内容/今の自分に手応えを感じていますか?しっかりした目標をもって歩めていますか?自分自身の可能性チャレンジしてみませんか?ともに目標を語り、歩んでいける仲間を見つけよう!一度しかない人生なら「シカケラレルヨリ・シカケヨウ」方が絶対おもしろいはず!今回は、自分から積極的にシカケテイル若者が集合。みんなで一緒に目標を持ちシカケ楽しさや、可能性についてぶっちゃけたトークバトルをやりましょう。終了後、ゲストも交え、大交流会を行います。【プログラム】
第1部 本間正人氏トークライブ「若者の力を発揮するシカケのツボ」
第2部 トークバトル「シカケラレルヨリ、シカケヨウ」
- 申込方法/資料の関係がありますので、事前に連絡ください。
- 主催・申込・問い合わせ先/若者NPO ACTIVEJUNCTION (代表:田中克和) Tel.090-4192-9207
E-mail katsu.mie-world@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://www10.ocn.ne.jp/~active-j/

第1回 がん患者とサポーターの集いフォーラム

- とき/2月8日(土)PM1:00~PM4:30
- ところ/アストホール(津市羽所町700アスト津)
- 参加費/無料 ●募集人数/200人
- 内容/三重県内のがん患者及びその家族とサポーター(趣旨に賛同していただける団体、個人、職種不問)が一同に会し、がん患者とその家族がいきいきと充実した生活を送るため、新しい出会いと情報などの共有化を図ります。当日はがん体験者、笑福亭小松さんの講演、健康運動指導士によるフィットネスなどを行います。
- 申込方法/Tel、Fax、E-mailにて下記まで。土・日曜、祭日は休み。
- 申込・問い合わせ先/(財)三重県健康管理事業センター総務課 Tel.059-228-4502 Fax.059-223-1611
E-mail kenkomie@po.inetmie.or.jp
ホームページ http://www.do-nuts.or.jp/supporters/

SAS suzuka autistic study 鈴鹿自閉症勉強会 第4回勉強会

- とき/2月9日(日)PM1:30~PM4:00
- ところ/鈴鹿市ふれあいホール(旧サティ北隣)
- 参加費/1000円(資料代込) ●募集人数/200人
- 内容/奥平綾子さんによる講演「ダダくんの暮らしー自閉症を理解するために」を行います。奥平さんの次男で、自閉症のダダくんへの家族ぐるみの支援&アプローチは夫である俊六さんによって「ダダ父通信」として紹介され、自閉症に関わる人々に影響を与えています。奥平さんはその中に書きつづった「ダダ母だより」と講演録をまとめて『レイルマン-自閉症文化への道しるべ』を出版されました。
- 申込方法/原則として申込制。ただし、当日参加も可。
- 申込・問い合わせ先/亀田佳子 Fax.0593-88-7857
E-mail HZA04713@nifty.ne.jp

こま名人が嬉野にやってくる!! こまのおっちゃんのおまのサーカス

- とき/2月11日(火・祝)PM12:30開場
- ところ/中川コミュニティーセンター(嬉野町)
- 参加費/前売200円・当日300円(小学生以下7券をお持ちのお子様、当日、先着100名にこまのプレゼントがあります) ●募集人数/200人
- 内容/こまのおっちゃんこと藤田由仁さんは日本独楽博物館の館長。今回は100種以上もある日本の「投げごま」のまわし方や技の紹介、国内外の珍しいこまや伝統芸の曲独楽を大道芸風に披露。公演後はみんなでこままわしにチャレンジしましょう。
- 申込・問い合わせ先/中川コミュニティーセンター Tel.0598-42-5574 ●主催/住民ボランティア「はじめのいっぽ」



CAP講演★子どもワークショップ★子ども造形あそび

- とき/2月16日(日)PM1:30~PM3:30
- ところ/名張市勤労者福祉会館(名張市夏見2812) Tel.0595-63-5239)
- 参加費/無料(託児有・1週間前までに要予約)
- 内容/子どもたちを守るために、一緒に考えませんか。もし、あなたの子どもの危険な場面に出会ってしまったら?もし、あなたの子どものいじめにあっているとしたら?親や教職員や地域の大人と子どもを支える立場にある人が、子どもたちが暴力から身を守る方法について、きちんとした知識を持つことはとても大切なことです。
- 募集人数/子ども(小学1~3年生)30人、大人は150人程度
- 主催・申込・問い合わせ先/伊賀男女(みんな)できらめく委員会事務局(伊賀県民局生活環境部 男女共同参画担当) Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8112
E-mail gseikan@pref.mie.jp

MI E C21(三重国際交流団体連絡会)

- とき/2月21日(金)PM7:00~
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター ミーティングルーム4(津市羽所町700アスト津3階)
- 内容/ブルガリア出身のビシエルカ・加藤さんをお招きしてブルガリア国の理解と男女共同参画のあり方について学びます。国際交流に関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。
- 申込・問い合わせ先/薦田正男 Tel.&Fax.059-227-2392
E-mail mkomoda@zvtv.ne.jp

三重のまちかど博物館・まんなか博覧会

- とき/2月21日(金)AM11:00~PM3:30、2月22日(土)AM10:00~PM3:30、2月23日(日)AM10:00~PM3:00
- ところ/津市一身田町(寺内町)及びその周辺
- 内容/地域の人たちが自慢のコレクションや伝統ある職人芸、工場産業の製造技術などを、館長さんの自宅や仕事場を使って公開し、身近にあるええとことして紹介している「三重のまんなか・まちかど博物館」や県内の伊賀、東紀州まちかど博物館が津市一身田町(寺内町)に一堂に集合して、展示、体験、実演します。きっと、ええとこ、ええもんに出会えます。ぜひ、お出かけください。当日は、ボランティアによる道案内や寺内町の歴史・文化の説明もあります。
- 問い合わせ先/三重のまちかど博物館・まんなか博覧会実行委員会事務局(津地方県民局企画調整部地域計画・防災チーム)

子どもメッセ みえ

- とき/2月22日(土)PM1:00~PM5:00、23日(日)AM10:00~PM5:00
- ところ/みえ県民交流センター・津市橋北公民館・アストプラザ(津市羽所町700アスト津)
- 参加費/入場無料※企画によっては参加費が必要。
- 内容/テーマは「みんなできつろう子どもが育つ地域社会」。22日はオープニングとシンポジウム、23日は5つのテーマで、分科会を開催。また、ママパパほっとライン、ブース展示、ボランティア活動に関する作品展やちびっ子広場なども行います。
- 申込方法/FaxまたはE-mailにて、事前申込を。電話での受付は致しません。定員のある企画については先着順となります。
- 問い合わせ先/子どもメッセinみえ実行委員会事務局(NPO法人三重県子どもNPOサポートセンター内)
Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100
E-mail kodomo@aqua.familie.ne.jp
ホームページ <http://www.iga.ne.jp/kodomo-messe/>

「つどいよっかいち女と男(ひととひと)」「パスワードはジェンダーフリー」

- とき/2月23日(日)AM10:00~PM4:00●参加費/入場無料
- ところ/四日市市本町プラザ、なや学習センター
- 内容/午前中は男女共同参画・起業・介護・心理学などの9つのワークショップを開催。ランチタイムには参加型ライブコンサート「ハッピーE」の音楽劇『ももこさん』や演奏、午後からは映像と音楽物語「世界中のひまわり姫へ」。ピアノ&朗読&スライドで楽しくわかりやすく「女子差別撤廃条約」を紹介します。親子で楽しめます!ひまわり姫の絵本・CDなどの抽選プレゼントもあります。なお、駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- 手話通訳・託児/2月17日までに事前申込を
- 問い合わせ先/つどいよっかいち女と男実行委員会事務局(四日市市女性センター内) Tel.0593-54-8331 Fax.0593-54-8339

平成14年度三重県男女共同参画フォーラム「みえの男女(ひと)2003」 未来社会のデザインは男女共同参画社会であらう みんなちがって みんないい

- とき/2月28日(金)~3月1日(土)AM10:00~PM4:00
- ところ/三重県総合文化センター(津市一身田上津部田1234)
- 参加費/入場無料 ●応募締切/2月12日(水)
- 内容/「男だから」、「女だから」。そんな考えに縛られていた社会から、一人ひとりの個性が彩るゆたかな社会へ。変革の21世紀を共に生き、創りあげていくためのヒントをここで見つけてみませんか。当日は各団体によるワークショップや東京大学大学院総合文化研究科助教授 瀬地山角さんによる基調講演、シンポジウムなどが行われるほか、さまざまなグループの活動展示なども行います。講演、シンポジウムは共に手話通訳あり。託児は1歳6カ月~就学前の子どもを対象に、託児料500円、先着順20人程度まで行います。
- 申込方法/郵送、Fax、E-mailで先着順に受付
- 申込・問い合わせ先/514-0061 津市一身田上津部田1234 男女共同参画センター フレンテみえ Tel.059-233-1130 Fax.059-233-1135 E-mail frente@center-mie.or.jp
- 主催/みえの男女2003実行委員会、三重県、(財)三重県文化振興事業団(三重県男女共同参画センター)

チャンネルMからのお知らせ

(クラフト、アートフリーマーケットに参加しませんか?)

- 【第3回 鈴の音市】
- とき/3月9日(日)PM2:00~PM8:00
- ところ/松阪市湊町ローレルコート事務所跡地
- 【クリエイティブ・マーケット2003】
- とき/3月30日(日)AM10:00~PM6:00
- ところ/メッセウイングみえ展示場A(津市)
- 参加費/運営費分担金2000円。ブースは2m×2m
- 内容/チャンネルMは、「渚アート展」を始めとした文化芸術活動の支援を行なっています。このフリマは日用品などの販売ではなく、クラフト、アートなど「手づくり品のみ」ですのでご注意ください。
- 応募締切/開催日の1週間前

- 申込方法/「〇月〇日クラフトフリマ申込書希望」と明記し、郵便番号、住所、名前、Telを記入の上、E-mailまたはFax、郵送にて。
- 申込・問い合わせ先/515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネルM「クラフトフリマ申込書希望」係Tel.090-3385-6958(クラフトフリマ担当) Fax.0598-22-0908
E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

ネットワークのよびかけ

ワールドキッズボランティア募集

- 外国籍児童・生徒のための課外教室です。鈴鹿市創徳中学校校区内に住む外国籍の児童・生徒を対象に週1回、学習面での援助・補助をしてくださる方を募集しています。子どもたちが日本での学校生活を楽しく送れるよう、あなたの力を貸してください。指導内容は算数、漢字など。子どもによって変わります。資格などは必要ありません。
- とき/毎週水曜日PM2:30~PM4:00
- ところ/牧田公民館(鈴鹿市)
- 問い合わせ先/代表:林多栄 Tel. 070-5654-1762
E-mail worldkidsjp@yahoo.co.jp

市民・企業とのマッチングイベント NPOマーケット出展者説明会

- NPOマーケットとは、日頃の運営に悩むNPOのために、社会貢献やNPOに興味のある企業人・市民に自分達の活動を知ってもらい寄付(バーチャルゲーム)やボランティアなどの人材を募るイベントです。今回のイベントをきっかけに、市民・企業の賛同が得られれば、具体的な支援に結びつく可能性もあります。興味のある団体は、説明会に是非ご参加ください。なおイベントは3月8日(土)、みえ市民活動ボランティアセンターにて開催します。
- とき/2月7日(金)PM7:00~PM10:00
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンターミーティングルーム2(津市羽所町700アスト津3階)
- 申込・問い合わせ先/あいむネット Tel.059-238-3085
E-mail net@aimunet.com
ホームページ <http://www.aimunet.com/>

動物愛護推進協議会発足をめざす市民の会会員募集中

- 三重県内で1年間に約4000頭の犬と約5500頭の猫が炭酸ガスによる殺処分で命を落としています。私たちは、このような不幸な動物を1匹でも減らすための努力をしています。活動内容は1、動物愛護を通じて情操を育みます。2、飼い犬・飼い猫のまいご札を販売。これによって殺処分される迷い犬や猫が減少します。3、捨て犬・捨て猫を減らすため、不妊手術を推進します。(動物を捨てることは犯罪です)4、公園猫の不妊手術をし、地域ネコとして人間との共生をすすめます。5、三重県に動物愛護推進協議会を設立するための準備をします。動物愛護推進協議会は動物愛護推進員を推薦することにより、動物の適正な飼育の普及、啓発を行うための機関です。捨て犬・捨て猫の不妊手術に多額の資金が必要です。どうかご理解いただき、ご協力ください。また、犬・猫の里親になつてくださる方、その他寄せられた情報によって活動して下さる方も募集中です。【ご協力ください】
- 会費(1年)1000円/寄付金の受付/ペットの迷子札(身分証明)1個1000円
- 問い合わせ先/514-0027 津市大門7番15号津センターバレス3階 津市市民活動センター内 動物愛護推進協議会発足をめざす市民の会 Tel.&Fax.059-227-0288
(平日PM2:00~PM4:00)

大きな文字の本を作ってあげませんか

- 大きな文字の本を作ってあげませんか
- …弱視の子どもたちが待っています!
- めがねをかけても本の字が良く見えない。そんな子どもたちのために大きな文字の教科書をつくっています。でも人手が足りなくて、みんなの願いに応えることができません。活動内容は、視力に合わせて大きく手書きで、パソコンで、コピーで拡大など、いろいろな仕方をつくっています。校正、糊はりなどの仕事もあります。自分の得意な、あるいはしてみたい分野で取り組んでいただきます。難しいことはありません。みんな明るく、楽しい仲間です。
- とき/第1、3木曜日 AM10:30~PM3:00

- ところ／津市社会福祉協議会会議室(津センターパレス3階)
- 会費／月額100円
- 申込・問い合わせ先／514-0062 津市観音寺町750-39
竹澤久子 Tel.&Fax.059-228-0804

みなさんへのお知らせ

【NPOチームから】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。

引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)事務所の所在地
- (1)アメニティサポート東海(2)大鬼伸夫(3)鈴鹿市住吉5丁目14番10号
- (1)生活バス四日市(2)西脇良孝(3)四日市市大字津成595番地
- (1)すりはーと(2)石原孝次郎(3)名張市富貴ヶ丘6番町182番地
- (1)みやま元気の会(2)上地憲行(3)北牟婁郡海山町大字相賀881番地1
- (1)市民福祉ネットワークみえ(2)大西良太(3)津市緑が丘二丁目8番地6号
(平成14年11月16日～平成15年1月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 三重花菖蒲ハンドボールクラブ(平成14年11月11日)／緑のネットワークみえ・自然環境創造協会(平成14年11月14日)／グループホームのぞみ(平成14年11月18日)／廃棄物問題ネットワーク三重(平成15年1月6日)／スポーツ施設サイエンス三重研究所(平成14年11月27日)／つどい(平成14年11月27日)／ドッグイヤー(平成14年12月20日)／ケアハウスたんぼぼ(平成14年12月19日)／sky(平成14年12月27日)／三重県不動産コンサルティング協会(平成15年1月8日)／スプリング(平成15年1月8日)
(平成14年11月16日～平成15年1月15日届出分)

助成金 ニュース

(財)河川環境管理財団河川整備基金助成

●受付締切／2月14日(金)消印有効

【国民的啓発運動】『1-一般的助成』

●助成の対象となる団体／地方公共団体、法人、任意団体、小中高等学校

●助成の対象となる活動／(1)河川・ダムなどに係わる副読本などの作成…河川への正しい国民的理解を得ることを目的として、一体的連帯感をもつ河川の流域ごとに作成される河川・ダムなどに係わる副読本、ビデオ、展示物などの資料の作成。(2)河川愛護・環境教育活動…河川・ダムなどへの国民的理解を深めることを目的として、河川愛護団体、自然保護団体、地域住民などが行う河川愛護・環境教育の実践活動およびこれらの活動のためのプログラム作成、シンポジウム、セミナー、講演会、イベント、コンテストの開催、指導者・

コーディネーター育成、小中高等学校におけるクラブ活動などにおいて河川への理解に資する活動、あるいは愛護活動および小中高等学校の「総合的な学習の時間」における河川を題材とした活動。(3)河川文化講演会などの開催…河川・ダム事業などへの国民的理解を深めることを目的とした、河川・ダムなどと歴史、風土、文化、伝統技術をテーマとした講演会、シンポジウム、セミナー、イベント、コンテストの開催または歴史、風土、文化、伝統技術に係わる保存・再生活動。(4)水利用の合理化・高度化・水と産業との係わりなどに関する普及啓発活動…水利用の合理化・高度化・水と産業との係わりなどに関する国民的理解を深めることを目的としたシンポジウム、セミナー、講演会、イベント、コンテストの開催、ビデオの製作による普及啓発活動。(5)メディア広報…国民の河川・ダムなどの事業への理解を深めることを目的としたテレビ、ラジオ、新聞、広報冊子、インターネットなどのメディアによる広報。(6)河川に係わる国際交流活動…国際交流を通じて、治水、利水、環境に関する国民的理解を深めることを目的とした、国際的シンポジウム、セミナー、研究会の開催およびこれらの会合に参加するための海外からの招聘。(7)流域交流…上下流交流、水環境交流などにより治水、利水、環境に関して国民の相互理解を深めることを目的とした、シンポジウム、セミナー、研究会、講演会、イベント、コンテストの開催、流域交流活動のためのネットワークづくり、指導者育成。(8)その他…河川・ダムなどの利用、整備の重要性についての一般の人々の関心と理解を深めるための(1)から(7)以外の諸活動で、国民一般または地域の人々にアピールするもの。

●助成の額／全国規模で行うものは1件につき助成期間1年で1000万円以内、地域的な規模で行うものは1件につき助成期間1年で500万円以内。ただし、小中高等学校において実施する「総合的な学習の時間」における活動については1件10万円以内。

※「河川・ダムなどに係わる副読本などの作成」及び「総合的な学習の時間」における河川を題材とした活動は助成の金額以内で2年間にわたることも可能。『2継続的助成』

●助成の対象となる団体／法人、任意団体。

●助成の対象となる活動／1の一般的助成の対象となる諸活動を継続的に行う非営利団体の活動運営費。再度の申請は認めません。

●助成の額／1件につき最長5年で各年50万円以内。

●応募方法／申請用紙はホームページからダウンロードするか、390円切手を貼付(1部の場合)した返信用封筒(A4版が入るもの)を同封のうえ、請求。

●問い合わせ先／(財)河川環境管理財団名古屋事務所(三日市芳朗)

450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル

Tel.052-565-1976 Fax.052-571-8627

E-mail kzn@lilac.ocn.ne.jp

※今回、誌面では「3、国民的啓発運動」を掲載します。「1、調査・試験・研究」、「2、環境整備対策」については直接お問い合わせください。

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター

Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

北勢地区 特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと

510-0033 四日市市川原町26-13

辻本晴美 harutuji@m2.cty-net.ne.jp

みんなであたおう、かなでよう！手作りまちなかコンサート 2002年12月15日「すわパークライブ」

すごい熱気のイベントが四日市【諏訪公園】で開催されました。企画からはじまって最終までかかった本人の熱い言葉をお聞きください。私自身は、この日四日市を離れていて参加できませんでした。非常に残念！また、今年8月ぐらいに大掛かりなイベントがあるみたいです。楽しみにしています。

こんな風を楽しみながら、いろいろなことに配慮しつつ活動し、そして、そのことに手応えが有るというのは、うらやましい生きていき方だとおもいます。本年8月に乞うご期待!!

そのアカペラ仲間の中に、四日市市から公募選出された「諏訪公園内拠点施設整備事業 企画委員」の一人が居たため、まちづくり事業イベントとして「すわパークライブ実行委員会」が発足する運びとなった。



■みんなと歌いたい。

「仲間内だけでなく、色んな人たちと楽しんで歌えたら」という思いから「市民100人ゴスペル」を提案する事になり、急遽新聞や地元FMラジオ局、地元CATVで参加者募集を呼び掛け、全体練習は12/1、8、14の3回という強行スケジュールで本番に臨んだ。



■すわパークライブ実行委員会発足。

最近、中高生や大学生だけでなく社会人までも巻き込んで「アカペラグループ」が流行っている。そして、ここ三重県内でもアカペラ・ゴスペルグループが徐々に増加し始め、「クリスマスに合同ライブやりたいね!」という話が盛り上がりつつあった。

■準備スタッフは・・・

本番までの準備期間は呼び掛けから約一ヶ月間しかなかった事もあり、準備は少人数ながら参加アカペラグループを中心(学生、社会人、主婦)に突貫工事のように突き進めていった。会場装飾はゴミが出ないように、繰り返し使えるように工夫した。前例のないイベント事を自分たちの手で立ち上げていくことに苦しみながらも、充実した時間を楽しんだ。もちろん必要経費は自分たちのポケットマネーから捻出して、出演参加費収入と当日観客カンパに期待した(笑)。(プレイベントは計画になかったので市の予算はおろかなかったのだが、発起当初から自分たちで作ろうという想いがあった為、元々市の予算はあてにしていなかった)

■そして当日。

2002年12月15日、風もなく晴天というイベント日和。四日市諏訪公園は穏やかな雰囲気にも包まれた。話題のコミュニティーレストラン「こらぼ屋」さんをはじめとした、コミレスネットさんが(豚汁やシチュー、おでんなど)あったか屋台を出店。市の職員さんもスタッフとして自主参加してくださり、大変助かりました。

昼15:00より「すわパークライブ」スタート!三重県内のアカペラ10チーム(桑名は中学女声1チーム、四日市は社会人5チーム、松阪は社会人1チーム、伊賀上野は高校混声1チーム、伊勢は大学2チーム)、によるアカペラライブが繰り広げられた。中でも皇學館大学女声ヴォーカルグループ「サラダボウル」は関東最大級のアカペライベント「JAM2002」のベスト13に選出されただけあって、完成度の高いステージングを披露して注目を集めた。

最後の10チーム目、四日市ゴスペルグループ「アドバルーン」が歌い始めた頃、あたりが暗くなり、諏訪公園内イルミネーションが綺麗に瞬き始める。いよいよフィナーレを迎えるときが来たようだ。アカペラライブ参加チーム、ゴスペル2チーム(桑名1チーム、四日市1チーム)、そして市内外から応募して来ていただいた皆さ

ん、一総勢200人が集結。劇場版ゴスペル「ハレルヤ」を大合唱した。圧巻である。観客との距離が近く、指揮者がおおると、なんと観客のみなさんまで大合唱!会場が歌で一体となった瞬間だった。歌い終わると何とアンコールが!観客のみなさんも歌いたがっていたのであろう。再び大合唱が始まり、感動があたりを包んだ。

■「すわパークライブ」を終えて。

「境界線」という言葉をなくしたい」「音楽の在るまじづくり」がしたい。そう思い、自分は呼び掛け人・出演者として関わらせて頂きましたが、実行委員長である山本良太さん、ゴスペルの指揮を買って出てくださいました前田さゆみ先生をはじめ、ライブ実現に向けて時間を割いていただいた関係者のみなさんのエネルギーが集結し、開催することができました。「一ヶ月でよく出来たなあ」と今更ながら驚いています。

カンパしていただいた沢山の方々、物品調達に便宜を図ってくださった商店街はじめ多くの方、ありがとうございました。

http://park_live.infoseek.co.jp/ ←1/27立上予定

■これからの諏訪公園。

今回会場となった諏訪公園にある建物、「子どもの家(改名予定)」は昨年「登録文化財」に指定すべきと答申され、これから内部改修工事が始まります。新たにウッドデッキも設置されるそうで、これから四日市の中心地にある「憩い、ときどきハレの場」として、今年8月末に開館予定です。毎月市民によるミニイベントが開催され、四日市市民・団体の交流場所となり、新しい地域通貨も交流のツールとして使われる予定です。建物の雰囲気といい、これから行われようとしている市民主催イベントといい、これからが楽しみな(考えただけでワクワクしてくる)諏訪公園です。市役所のみなさんもがんばってくださいね。応援してます。

(文責:岡嶋多華夫「うたたば」) <http://utataba.infoseek.co.jp/>

志摩市民活動通信・SANPO

517-0502 志摩郡阿児町神明764-165 志摩サイバーベースセンター310号室SURF内

Tel.&Fax.0599-43-4564

<http://www.sanpo.info>

志摩地区

SANPO KIDS 起動開始!(1)

SANPO KIDSの取材が始まったよ!!子どもたちのパワーが炸裂!!



三重県青少年健全育成協働・連携促進事業の委託を受け、志摩郡内、小学5・6年生～高校生までの元気な子ども達がボランティアや市民活動のグループに

取材を行いました。結成式では、SANPO代表やケーブルテレビのカメラマンの話を熱心に聞き、意欲満々!行きたい取材場所は

自分たちで決めて、いざ、取材先へGO!

はじめはカメラを意識してか、表情が硬かったKIDSも慣れてくるにつれて、だんだん笑顔に...

いろいろな質問が飛び出し、気分はすっかりリポーター!取材先の方ともすっかり打ち解け、なごやかムードのうちに体験取材は大成功!

ケーキ作りに参加したり、ダンススクールを体験したり、充実した時間を過ごせたはず...

この経験を通して、普段とは違う何かを感じとってもらえたのではないのでしょうか...

取材の様子はケーブルテレビで4月すぎに放送の予定です。

ボランティア大募集

志摩朗読ボランティア「いそぶえ」



志摩朗読ボランティア「いそぶえ」では情報提供者として全国にボランティアを募集しています。「いそぶえ」情報テープはリスナー(聞き手)からのリクエストにも応じて、幅広く情報伝達が出来ます。取材、構成、朗

読、編集、ダビング発送をしています。視覚障害者のリスナーの声から生まれた「いそぶえ」情報テープです。

活動資金は会員の会費とリスナーの会費で運営しているため、入会して頂く与会費が必要ですが、これから夢のあるボランティアグループです。興味、関心のある方は、お気軽にお問合わせください。

★阿児町ボランティアセンター★

阿児町鶴方3098-1 阿児町社会福祉協議会内

Tel.0599-44-1101

会長 城山文子 jl2qie@lilac.ocn.ne.jp

副会長 村瀬義親 shima001@quartz.ocn.ne.jp

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~isobuee/>

平成14年度阿児町福祉ふれあい広場



阿児町社会福祉協議会では平成15年3月2日(日)に阿児アリーナにおいて、平成14年度「阿児町福祉ふれあい広場」を開催します。このイベントは阿児町内のボランティアグルー

プや福祉施設、福祉関係団体などが中心となって地域での福祉活動の発表や紹介、講演、その他バザーや模擬店と、こどもから大人まで幅広く楽しんでいただけるプログラムを計画しています。そこで、イベントの準備や運営などに協力いただけるボランティアの募集を行なっています。

詳しくは事務局までご連絡ください。

●活動日時/3月1日(土)午後、前日準備

2日(日)当日10時～15時ごろ

●活動内容/会場設営、会場案内、各ブース進行補助

事務局 阿児町社会福祉協議会 担当 上村

Tel.0599-44-1101/Fax.0599-44-1102

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。今回は、「市民ガーデンティルス」代表の川戸由起さんが「イベントを通じたまちおこしに関わるなど、桑名のキーマンの一人です」と推薦して下さった郷司房夫さんをご紹介します。

イベントを通じたまちおこし

……郷司さんが活動を始めたのはイベントがきっかけですか？

最初は平成元年から始めた「桑名は地球の真ん中です(以下、真ん中と略)」。毎年、4月1日に開催していました。これは「日本なんて小さい。物事を世界的に考えよ」という永六輔さんの発案をいただいたイベントです。地球は球体ですから「ここ!」と言えば、みんな真ん中なんです(笑)。次に同じ年の10月に「桑名の殿様御台所祭(以下、御台所祭と略)」を立ち上げました。御台所祭の方が桑名に相応しいことや不況などもあって、真ん中は平成12年に終わらせました。同じ地域で年2回のイベントを持っていると、大変。正直に言えば、協賛金を集めに行くスタッフが辛いんです(笑)。この他、行政関連のイベントもありましたから、15年あまりで30を超えるイベントに関わりました。イベントを通じたまちづくりをしてきたつもりです。

……イベントの仲間はどのように集めたのですか？

真ん中を催したのは東部商研というグループです。

……それは商工会議所や青年会議所に関連したグループですか？

東部商研は商工会議所が商業近代化実施計画づくりの時に、桑名市を四分割した内の一つです。商店街や発展会など商売屋の小さな固まりを繋げられないかと考えられたものです。東部は桑名市の中心部で商売をしている人が集まったもの。それも50歳前の若い人を集めたんです。計画ができあがった時点で他の商研は解散しましたが、東部だけは活動を続けています。これもイベントがあったからでしょうね。

……東部商研が真ん中を始めた理由は？

「地域で何ができるか?」考えた時に、思いついたのがイベント。当時はまちおこしイベントが盛んでしたし、一方の御台所祭は先に祭を考えてから、実行委員を集めたんです。基本コンセプトをつかったのは市役所の若手職員たち。彼らが我々に協力を求めてきたことをきっかけに動き出したんです。実行委員会にしたのは東部商研よりもっと広域的に、桑名市全体を考えたからです。ただ市役所職員たちも職員としてではなく、プライベートで関わってくれました。

……その他に、この二つのイベントの違いは？

真ん中は商業ベース。これを利用して儲けて欲しいなど。桑名市の経済活性を狙ったんです。御台所祭は桑名全体の活性化を商売抜きで考えました。だからこちらは商売的なものは押さえました。

……桑名には石取祭という伝統がありますから、近所同士、商店街同士の息が合っている気がします。

石取祭のある町とない町では温度差がかなりあります。永六輔さんがこんな話を紹介されていました。『警察に「石取祭の鐘がうるさい。なんとかしろ」と電話したら、警察は「警察ができる前からやっている祭は規制できません」と答えた』(笑)。祭の伝統があったから、イベント開催に大きな反対も無く、協力していただけたんでしょう。……二つのイベントが商業者の祭ではなく、市民の祭として認識されていますが、どうやって仕掛けたのでしょうか？

御台所祭は歴史文化系統の祭ですから、その関係で市民活動団体にもご協力いただいています。最近は特に、活動の発表の場として、またフリーマーケットなどを開催して、資金集めの場にもなっています。商業的な出店は一部規制していますが、市民活動団体が販売活動するのは認めているんですよ。

……スタッフとして市民活動団体が加わった例は？

祭に千姫」という役柄がありますが、その着付けを民族衣装文化普及協会の先生と生徒さんにやっていただいています。当初は美容師さんをお願いしていたのですが、開催日の10月20日前後は結婚式などが多い時。謝礼もわずかですから、お願いするのも心苦しかったんです。それが民族衣装文化普及協会の先生と知り合ったことで、着付け、化粧、髪関係まで手がけていただけるようになりました。徐々に市民活動団体さんの協力が増えていっていますね。

……郷司さんたちがスタッフをすることで、「祭も商売なんだろう」と誤解されることは？

商売と言うよりも、市との関係を言われましたね。「市から金をもらっているだろう」と言われる方が、商売でやっていると言われるよりも腹が立ちましたね。確かに市職員もスタッフですが、彼らもプライベートで参加している。もちろん、我々も自主的にやっている。あくまでも自分たちがお金を出して、また頭を下げて協賛金を集めたイベントという自負があります。市からも補助をいただいています。祭の予算規模から見れば1割にもなりませんから。

……予算規模はどれくらいですか？

現在、7~800万円です。イベント屋さんが行えば5000万円はかかるイベントだと言われています。スタッフの持ち出しもありますけど。毎年、お金の使い道では実行委員会でも激論を交わしますよ。でも、800万円であれだけのことができれば、充分でしょう。

……イベントを主催するのは大変でしょう？

その辺の慣れといいますかね。現場処理の巧みさは経験者にはかなわないでしょう。トラブルが起こっても、何とかしてしまいますからね。今までイヤというほど、いろんなことがありましたから、メンバー全員があらゆる場面に対応できるんです。

平成の町割会から、新しいネットワークへ

……イベントを通じて、ネットワークは広がりましたか？

ネットワークに関連してくるのが平成の町割会だと思います。この集まりは県から仕掛けていただいて、我々にも声がかかりました。参加してみたら御台所祭に協力してくれている団体がたくさんいました。それまで意識はしていなかったけど、市民活動団体の方がたくさん関わってくれていたんですね。平成の町割会に参加して、市民活動やNPOという言葉が初めて我々の前に出てきましたね。

……平成の町割会に参加することで、活動に変化はありましたか？御台所祭はすでに若い人たちに任せています。イベントを15年

桑員まちのファンクラブ設立準備会

郷司房夫 さんに 聞く

やってきて、勉強もしたし、仲間もつくった。このメンバーに声をかければ大抵のことはできるだろうという自信もあります。でも私にとってイベントはあくまでも手段。じゃあ、その次は何かと考えた時に、柱となるのがネットワークです。情報を交換しあい、困った時やイベントの時に助け合えるネットワークをつくりたいと思っています。平成の町割会をつくった時にも同じことを思いましたし、それを終わらせたのも同じ理由。こぢんまりと固まりたくなかったんです。

イベントはあくまでも手段。 じゃあ、その次は何かと考えた時に、 柱となるのがネットワークです。

……平成の町割会を解散されたのですか？

一昨年(2011)の12月で終わらせました。1年間、準備期間をおいて、今年1月17日に「桑員まちのファンクラブ」設立準備会を行いました。一昨年は桑名400年という記念の年で、町割会もそれに大きく関わりました。そのため、外部から市役所の御用団体に見られることも多く、それも気になっていました。ただ平成の町割会で勉強させていただいたことは多かった。参加して良かったです。

……桑員と名がついているのは、広がりを持たせるためですか？
地域的にも、分野的にも広がっていきたくて考えています。

……中心になって仕掛けているのは郷司さんですか？

私や平成の町割会の元メンバーに新しく賛同してくれた人たちです。桑員という規模でまちかど博物館や地産地消、環境交流エリア、それに県との関係もつくっていく予定ですので、それらの受け皿というか、民間の事務局的なものが必要だろうという想いもありました。だから「今度は2、3年で壊せないよ」と言っているんだけど(笑)。あと自分たちがネットワークをつくることによって、イベントにも新しい考え方、団体を送り込めればとも考えています。

広がった視野が、新しい結果を生む

……めがね工房ごうじの店内には車椅子でも利用できるトイレが設置されていますが、以前からバリアフリーには注目していましたか？
平成の町割会で、障害を持った方とも出会いました。桑名400年を記念してイベントの一つとして落語会を行ったのですが、「障害を持った人だって聞きたいよね」と実行委員会に手話や要約筆記といった福祉団体にも参加してもらいました。力を発揮してもらうだけでなく、自分たちの知らない世界もいろいろ教えていただきました。要約筆記や手話で落語を説明することも初めての挑戦。落語家の桂歌助さんと相談しつつ、手探りで進みました。落語を録音や文字で書き起こしたりね。初めての体験だったそうです。

……要約筆記や手話通訳は落語家さんが嫌がったでしょう？

要約筆記の場合なんて、最初からオチが見えているわけですから(笑)。でも、最後には「面白い経験をしたし、今後もこういった取り組みはぜひやりたい」と言ってくれました。

……郷司さん自身、新しい体験をされたのですか？

こんなことを言うと怒られると思いますが、イベントをやっていると障害を持った方のフォローには目を向けられないんですね。というのも、そちらに目を向けると大変だから。今回の落語会は、福祉団体と我々の力が上手くマッチして成功したんだと思います。彼らの力がなければ、落語家さん一人、説得することすらできなかったでしょう。

……そういった出会いが車椅子トイレに繋がったのですか？

店を新築するにあたって、車椅子トイレとバリアフリーにはこだわりました。



「桑名は地球の真ん中です」



「桑名の殿様御台所祭」の様子です。



した。私はイベント人間ですから、障害を持つ方が気軽にイベントに参加するには、何が必要か考えました。それで気付いたのがトイレ。行政に公衆トイレ設置を依頼することもできますが、実現までに時間がかかるだろうし、維持管理も大変。ならば、自分でつくってしまおうと。これなら管理も行き届くし、夜中や土、日曜も使えますからね。

……でも、コスト的には大変でしょう？

高いですね。(笑)でも公衆トイレをつくるよりは安価でしょう。去年の石取祭の時にも、車椅子利用者の方だけでなく、一般の方もたくさん利用してくれました。

まちおこしのキーワードで事業も市民活動も繋げる

……イベントから始まった活動は広がり続けているのですか。

あと、東部商研の仲間で桑名リバークルーズという屋形船の会社をつくりました。イベントだけでなく、桑名の水辺を生かした観光事業がやりたいと、35人の出資者を集めて有限会社をつくりましたが、その時にNPO法人制度があれば、そちらを望んででしょう。

……どうやって出資者を説得したのですか？

「30万円を川に捨ててください」と(笑)。それから10年近く経ちますが儲かりもしない代わり、損もありません。それなりに還元もしているつもりです。例えば花火大会の時、屋形船に株主を優待したりね(笑)。お金は遣わなくてすむようなシステムを考えています。

……船はイベントの時などに動かすのですか？

イベント時は必ず動かしていますが、基本的には予約制です。私かなぜ、この話をしたかと言うと、今後は市民活動団体との関係をつくっていきたくて思っているからです。

……どうということでしょうか？

この会社を続けていくためには土日曜など休日限定となる地域の観光だけでなく、自然環境などの学習面に活路を見いだしたいと考えているんです。自然環境系の市民活動団体と提携することで、学校などにも企画を提供できればと思います。

……本業でもない屋形船の運営。難しいことも多いのでは？

想像以上ですね。今で誰も手を出さなかったのがわかりました。川の上の規制やら水辺に関わってみえる方々からのいろいろなクレーム、反対がありました。これからは漁業者、漁業組合などを巻き込んで動いていかなければいけないでしょう。その辺りが自分たちがイベントで培ったノウハウが生かせる部分だと思います。

511-0088 桑名市南魚町86

Tel.0594-22-2717 Fax.0594-24-4758

郷司房夫さんはこの人を紹介します。

志治優美さん

“子育て”とは、子どもが自主的に育っていくこと。志治さんは「エンパワメントみえ」というグループで、その活動を行っています。

お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

R100 PRINTED WITH SOYINK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。